

漢文參考年表

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代
前 一六〇〇 ? 一〇五〇 ? 七〇〇	夏 殷 周 西	伝説時代 (三皇・五帝)	禹、黄河の水を治めて即位。 湯王、夏の桀王を滅ぼして即位。 亀甲・獸骨（甲骨）文字。 武王発（文王の子）、殷の紂王を滅ぼして即位。 太子籒、籒文（大篆）を作る。 幽王、犬戎に殺され、西周滅ぶ。 平王、東遷。	前 四〇三 前 三三
前 四〇三	周 東	春秋時代 (戦国時代)	倉頡、文字を作る。 堯・舜、帝位禪譲。 禹、黄河の水を治めて即位。 湯王、夏の桀王を滅ぼして即位。 亀甲・獸骨（甲骨）文字。 武王発（文王の子）、殷の紂王を滅ぼして即位。 太子籒、籒文（大篆）を作る。 幽王、犬戎に殺され、西周滅ぶ。 平王、東遷。	前 三三
前 三三	戦国時代 (戦国時代)	諸子百家の活躍。 屈原、汨羅に投身自殺（前二七七?）。 戦国の四君（斉の孟嘗君・趙の平原君・楚の春申君・魏の信陵君）の活躍。	伏義・神農・黃帝（三皇） 少昊・顓頊・帝嚳・帝堯・帝舜（五帝） 禹王・桀王 湯王・紂王、西伯（周の文王） 周公旦・太公望（呂尚） 伯夷・叔斉 管仲（?）前六四五『管子』鮑叔牙（?） 晏嬰（?）前五〇〇『晏氏春秋』? 老子（?）『老子』 孔子（前五五二―前四七九）『論語』（四書の二）『詩経』（五経の二） 曾子（孔子の門人。前五〇五―前四三六）『孝経』 子思（孔子の孫。前四九二?―前四三二）『中庸』（四書の二） 左氏（一説に左丘明。?）『春秋左氏伝』 墨子（前四六八?―前三七六?）『墨子』 孟子（前三七二―前二八九）『孟子』 列子（?）『列子』『莊子』 商鞅（?）前二三八 蘇秦（?）前三一七 張儀（?）前三〇九 屈原（前三四四?―前二七七?）『楚辞』 荀子（前三一三?―前二三八?）『荀子』 呂不韋（?）前二三五『呂氏春秋』宋玉（前二九〇―前二三三） 韓非子（?）前二三三『韓非子』 荊軻（?）前二二七	前 三三
前 三三	縄文式文化時代	縄文式文化時代	エジプト古王国時代 (前三〇〇〇ころ)。 トロイ戦争終結（前一一八四）。 ローマ帝国建国（前七五三）。 ペルシャ帝国、全オリエント 統一（前五二五ころ）。 ソクラテス (前四七〇―前三九九)。 インド、マウリア朝、アショカ 王（前二七三―前二三三）。	前 三三

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代	参考事項 (人名のあとの数字は没年)
前 三三	秦	秦王政(始皇帝。前三五九―前二二〇)、天下統一。郡県制の採用、度量衡の統一。万里の長城の一部を築く。 焚書坑儒(前二三―前二二)。 陳勝・呉広の乱(二〇九)。漢楚の興亡。	李斯(？―前二〇八) 陳勝(？―前二〇八) 項羽(前二三―前二〇二) 呉広(？―前二〇八) 范增(前二七五―前二〇四)		
前 二〇六	漢 前	劉邦(高祖)、項羽を垓下に破り即位。 挟書の律(民間人が書物を所有することを禁じた法)が解かれる(前一九一)。 呉楚七国の乱(前一二四)。 初めて年号を制定(前一二四)。武帝の建元元年。 五経博士を置き、儒教を国教と定める(前一二三)。 蘇武、匈奴に使いし(前一二〇)、李陵、匈奴に降る(前九九)。 辞賦の盛行。	劉邦(前二四七―前一二五) 韓信(？―前一九六) 蕭何(？―前一九三) 張良(？―前一九八) 陳平(？―前一七八) 賈誼(前二〇一―前二六九)『新書』 枚乗(？―前二四〇) 司馬相如(前二七九―前一二七) 劉安(？―前一二三)『淮南子』 張騫(？―前一二四) 董仲舒(前二七六―前一二〇)『春秋繁露』 武帝(前二五六―前八七) 東方朔(前二五四―前九三) 司馬遷(前二四五―前八七)『史記』 李陵(？―前七四) 蘇武(？―前六〇) 王昭君(？) 劉向(前七七―前六)『戰国策』『說苑』 揚雄(前五三―前一八)『法言』 劉歆(前五三―二三)『七略』		
二五 九	新	劉秀(光武帝。前六―五七)、漢室を再興。 仏教伝来(六七)。 蔡倫、紙を発明(二〇五)。 党錮の獄(二六六)。 黄巾の乱(一八四)。 赤壁の戦い(二〇八)。	桓譚(前二四―五六)『新論』 王充(二七―九七)『論衡』 許慎(三〇―一二四)『說文解字』 班固(三二―九二)『漢書』 張衡(七八―一三九) 王逸(九〇―一四五)『楚辞章句』 鄭玄(二二七―二〇〇)『毛詩鄭箋』(『詩経』の注釈書) 蔡邕(二二一―一九二)		
三〇	後 漢	魏の曹丕(曹操の子、文帝)、献帝を廃し即位。 蜀の劉備、呉の孫権、それぞれ帝位につき、三国鼎立。 建安の七子(孔融・陳琳・王粲・徐幹・応瑒・阮瑀・劉楨)の活躍。 諸葛亮、出師表を奉る。 清談の流行。竹林の七賢(阮籍・嵇康・山濤・向秀・劉伶・王戎・阮咸)。	曹操(武帝二五―一三〇) 劉備(六―二三) 王粲(七―三七) 諸葛亮(字は孔明。一八一―一三四) 孫権(一八二―一五二) 曹丕(二八七―一三六) 曹植(一九二―一三三) 曹子建集 何晏(二九〇―二四九)『論語集解』 王肅(二九五―一五六)『孔子家語』 山濤(二〇五―一八三) 阮籍(二〇一―一六三) 劉伶(二二一―三〇〇) 嵇康(二三三―二六二) 王弼(二六二―二四九)『老子注』		
二六五	魏・呉・蜀 (三国時代)			弥 生 式 文 化 時 代	倭奴国、後漢に使者を送る(五七)。 任那に日本府を置く(前三三ころ)。 朝鮮に新羅建国(前五七)。 朝鮮に高句麗建国(前三七)。 [旧約聖書]成る(前二六五ころ)。

二六五	三七	三八	四〇	四九	五三	五五	五七	五八	五九	六八
晋		南北朝		隋						
西	東	北魏・東魏・西魏		北周						
晋	晋	宋(南)	齐	梁	陳					
司馬炎(武帝。二三六―二九〇)、魏の帝位を奪う。		劉裕(宋の武帝。三五六―四三三)即位。 南北朝の対立。		蕭道成(齊の高帝。四七―四八二)即位。	蕭衍(梁の武帝)即位。 仏教の隆盛。 宮体詩の盛行。	侯景の乱。 西魏の侵寇。	陳霸先(陳の武帝。五〇三―五五九)即位。	楊堅(文帝。五四―一六〇四)天下を統一。 科挙制度実施。 万里の長城構築。大運河の開通。		
八王の乱(三〇〇―三〇六)。 五胡十六国の乱始まる(三〇四)。 永嘉の大乱。漢人の南渡。		鳩摩羅什が『法華経』他、多数の仏典を漢訳(四二三)。 四六駢儷文の盛行。								
皇甫謐(二五一―一八二)『高士伝』 傅玄(二七―一七八) 杜預(三二―一八四)『春秋左氏伝集解』 張華(三一―一三〇)『博物志』 陳寿(三三―一八九七)『三国志』 潘岳(四七―一三〇) 左思(二五〇?―一三五五?)『三都賦』 陸機(二六―一三〇三) 郭象(二五?―一三二二)『莊子注』 葛洪(二八四―三六四)『抱朴子』 神仙伝		郭璞(二七六―三三四)『爾雅注』 干宝(一三七?)『搜神記』 王羲之(三二―一三七九)『蘭亭集序』 桓温(三二―一三七三) 謝安(三三〇―三八五) 慧遠(三四―一四一七) 鳩摩羅什(三四四―四二三) 顧愷之(三四五―四〇六) 桓玄(温の子。三六九―四〇四) 陶潜(字は淵明。三六五―四二七)『陶淵明集』		顔延之(三八四―四五六) 謝靈運(三八五―四三三) 謝惠連(三九七―四三三) 范曄(三九八―四四五)『後漢書』 劉義慶(四〇三―四四四)『世說新語』 鮑照(四〇五―四六五) 蕭子良(竜陵王。四五九―四九四) 謝朓(四六四―四九九) 沈約(四四一―五一三)『宋書』『四声譜』 任昉(四六〇―五〇九)『述異記』 劉勰(四六五?―一五三三)『文心雕龍』 鍾嶸(四六九―一五八?)『詩品』 鄺道元(四六九?―一五七?)『水経注』 斛律金(四八八―一五六七) 蕭子顯(四八九―一五三七)『南齊書』 蕭統(昭明太子。五〇一―一五三)『文選』 蕭綱 簡文帝。五〇三―五五五 徐陵(五〇七―五八三)『玉台新詠』 庾信(五二―一五八) 顧野王(五一九―一五八二)『玉篇』 宗懔(四九八?―一五六二?)『荆楚歳時記』 顔之推(五三一―?)『顔氏家訓』		煬帝(五八〇―六一八) 陸法言(?)『切韻』 陸德明(五五六―一六七)『經典釈文』				
大 和 時 代										
百濟から仏教伝来(五三八)。 聖德太子、摂政となる(五九三)。 法隆寺建立(五九六)。 「十七条憲法」制定(六〇四)。 小野妹子、隋に派遣(六〇七)。 百濟の王仁来朝、『論語』「千字文」を献す。 日本、百濟・新羅に出兵(三九)。										

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代	参考事項 (人名のあとの数字は没年)	
六八	唐	李淵(高祖。五六六―六三五)、即位。長安に都する。 太宗(李世民。五九八―六四九)、即位。貞観の治。	歐陽詢(五五七―六四二)『芸文類聚』 虞世南(五五八―六三八)『北堂書鈔』 孔穎達(五四―六四八)『五經正義』 魏徵(五八〇―六四三)『群書治要』 顏師古(五八一―六四五)『漢書注』 褚遂良(五九六―六五八)『玄奘(六〇二―六六四)『大唐西域記』 廬照鄰(六四〇―六八〇)駱賓王(六四〇?―六八四)李善(一六八九)『文選注』 王勃(六四八―六七五)劉希夷(六五一―六七八?) 宋之問(六五六?―七二二)沈佺期(六五六?―七二四)賀知章(六五九―七四四)陳子昂(六六一―七〇二)張鷟(六五七―七三〇)『遊仙窟』 張說(六六七―七三〇)張九齡(六七三―七四〇)李林甫(一七五二)『唐六典』 王翰(六八七?―七二六?)王之渙(六八八―七四二)孟浩然(六八九―七四〇)王維(六九九?―七五九?)『王右丞集』 王昌齡(七〇〇?―七五五?)李白(七〇一―七六二)『李太白集』 崔顥(七〇四―七五四)高適(七〇七?―七六五)常建(七〇八?) 顔真卿(七〇九―七八五)杜甫(七一二―七七〇)『杜工部集』 岑參(七二五―七七〇)元結(七一九―七七二)李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三三―七八〇?)張繼(?) 杜佑(七三五―八二二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四)韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	歐陽詢(五五七―六四二)『芸文類聚』 虞世南(五五八―六三八)『北堂書鈔』 孔穎達(五四―六四八)『五經正義』 魏徵(五八〇―六四三)『群書治要』 顏師古(五八一―六四五)『漢書注』 褚遂良(五九六―六五八)『玄奘(六〇二―六六四)『大唐西域記』 廬照鄰(六四〇―六八〇)駱賓王(六四〇?―六八四)李善(一六八九)『文選注』 王勃(六四八―六七五)劉希夷(六五一―六七八?) 宋之問(六五六?―七二二)沈佺期(六五六?―七二四)賀知章(六五九―七四四)陳子昂(六六一―七〇二)張鷟(六五七―七三〇)『遊仙窟』 張說(六六七―七三〇)張九齡(六七三―七四〇)李林甫(一七五二)『唐六典』 王翰(六八七?―七二六?)王之渙(六八八―七四二)孟浩然(六八九―七四〇)王維(六九九?―七五九?)『王右丞集』 王昌齡(七〇〇?―七五五?)李白(七〇一―七六二)『李太白集』 崔顥(七〇四―七五四)高適(七〇七?―七六五)常建(七〇八?) 顔真卿(七〇九―七八五)杜甫(七一二―七七〇)『杜工部集』 岑參(七二五―七七〇)元結(七一九―七七二)李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三三―七八〇?)張繼(?) 杜佑(七三五―八二二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四)韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	平安京に遷都(七九四)。 勅選三集成る。 『凌雲集』(漢詩集、八二四) 『文華秀麗集』(漢詩集、八二六) 『經國集』(漢詩文集、八二七) 空海『文鏡秘府論』(八二〇) 『白氏文集』の伝来。 遣唐使廃止(八九四)。 菅原道真『菅家文章』(九〇〇) 『菅家後集』(九〇三)。	
七二		玄宗(六八五―七六二)、即位。開元の治。 大詩人輩出。 辺塞詩起る。 伝奇小説の流行。	張鷟(六五七―七三〇)『遊仙窟』 張說(六六七―七三〇)張九齡(六七三―七四〇)李林甫(一七五二)『唐六典』 王翰(六八七?―七二六?)王之渙(六八八―七四二)孟浩然(六八九―七四〇)王維(六九九?―七五九?)『王右丞集』 王昌齡(七〇〇?―七五五?)李白(七〇一―七六二)『李太白集』 崔顥(七〇四―七五四)高適(七〇七?―七六五)常建(七〇八?) 顔真卿(七〇九―七八五)杜甫(七一二―七七〇)『杜工部集』 岑參(七二五―七七〇)元結(七一九―七七二)李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三三―七八〇?)張繼(?) 杜佑(七三五―八二二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四)韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	大寶律令制度(七〇二)。 平城京へ遷都(七二〇)。 『古事記』(七二二)。 『日本書紀』(七二〇)。 東大寺建立(七四九)。 『懷風藻』(七五一)。 唐僧鑑真來朝(七五四)。 『万葉集』(七五九以後)。 阿倍仲麻呂、唐にて没(七二〇)。		
七三		盛唐	安史の乱(安禄山、?―七五七。史思明、?―七六一)起る(七五五)。 節度使の権勢が強まる。 古文復興の運動。 牛李(牛僧孺、七七―八四三。李德裕、七八四―八四九)の党争。 唯美的・技巧的な詩風の流行。 黄巢の乱(八七五)。 木版印刷の発明。	韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	奈良時代	
七六		中唐	古文復興の運動。 牛李(牛僧孺、七七―八四三。李德裕、七八四―八四九)の党争。 唯美的・技巧的な詩風の流行。 黄巢の乱(八七五)。 木版印刷の発明。	韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	平安時代	
八六	晩唐	古文復興の運動。 牛李(牛僧孺、七七―八四三。李德裕、七八四―八四九)の党争。 唯美的・技巧的な詩風の流行。 黄巢の乱(八七五)。 木版印刷の発明。	韓愈(七六八―八二四)韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三)白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七―八四二)柳宗元(七三三―八一九)『柳河東集』 白行簡(七七五?―八二〇)『李娃伝』 元稹(七九八―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八四三)李賀(七九一―八一七)許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 溫庭筠(八二二―八七二)李商隱(八三三―八五八)『李義山集』 段成式(?)『八六三』 『酉陽雜俎』 高駢(?)『八八七』 孟榮(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八)司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八)韓偓(八四四―九三三)『香奩集』	平安時代		

九七〇	朱全忠(八五一—九一三)、哀帝を廢して即位、後梁を建国。	劉昫(八八七—九四六)『旧唐書』趙崇祚(?)『花間集』
九六〇	五代十国の興亡。	李璟(南唐中主。九六一—九六二)李煜(南唐後主。九三七—九七八)
九〇〇	趙匡胤(太祖。九七—九七六)、即位。	李昉(九五—九九六)『文苑英華』『太平御覽』『太平広記』
八〇〇	木版印刷技術が発達し、大規模な書物(『太平御覽』『冊府元龜』など)が刊行される。	樂史(九三〇—一〇〇七)『太平實字記』王欽若(九六一—一〇二五)『冊府元龜』林逋(九六七—一〇〇八)『新唐書』蘇洵(一〇〇九—一〇六六)
七〇〇	王安石、新法施行(一〇六九)。以後、新旧両法党の対立。	程顥(明道。一〇三二—一〇八五)程頤(伊川。一〇三三—一〇七〇)蘇軾(東坡。一〇三六—一一〇二)蘇東坡全集
六〇〇	宋学(理学)・程朱の学の發達。	蘇軾(一〇三六—一一〇二)黃庭堅(山谷。一〇四五一—一一〇五)
五〇〇	宋江の反乱(一一一〇)。	陳師道(一〇五三—一一〇二)克勤(一〇六一—一一三五)『碧巖録』
四〇〇	金、遼を滅ぼす。	李清照(一〇八四—一一五二?)郭茂倩(?)『樂府詩集』
三〇〇	金の侵入(靖康の難)。臨安に遷都(宋の南渡)。	計有功(?)『唐詩紀事』岳飛(一一〇三—一一二四)陸游(一一一五—一一二〇)『劍南詩稿』『入蜀記』
二〇〇	朱子学の隆盛。	范成大(一一二六—一一九三)楊万里(一一二七—一二〇六)
一〇〇	金、宋・蒙古の連合軍のため滅亡。	朱熹(一一三〇—一二〇〇)『四書集注』『近思録』
〇	忽必烈(元の世祖。一二五—一二九〇)即位。	呂祖謙(一一二七—一一八二)陸象山(一二三九—一二九二)
九〇	イタリイ人マルコ・ポーロ、大都(北京)に至り(一二七五)、十七年間滞留。	辛棄疾(一二〇四—一二〇七)成吉思汗(一二二六—一二三三)
八〇	元、中国を統一。	耶律楚材(一二〇二—一二四四)元好問(一二〇—一二五七)
七〇	元曲(戯曲)の盛行。	周弼(?)『三体詩』嚴羽(?)『滄浪詩話』
六〇	科学制度の廃止(一二三五)。	謝枋得(一二六—一二八九)『文章軌範』黃堅(?)『古文真宝』
五〇	紅巾の乱(一二五一)。	文天祥(一二三六—一二八二)
四〇		方回(一二三七—一二三〇)曾先之(?)『十八史略』
三〇		マルコ・ポーロ『東方見聞録』
二〇		関漢卿(?)『寶娥冤』馬致遠(?)『漢宮秋』
一〇		馬端臨(?)『文献通考』辛文房(?)『唐才子伝』
〇		
九〇		
八〇		
七〇		
六〇		
五〇		
四〇		
三〇		
二〇		
一〇		
〇		

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代	参考事項 (人名のあとのかぎりは没年)
三八六	明	朱元璋(太祖) 一三八―一三九八 即位。 科学制度の復活(一三八五)。 靖難の変(一三九九)。 小説の隆盛―四大奇書。 土木の変(二四九九)。 銅活字印刷の盛行。 王陽明、知行合一を説き、陽明学を開く。 東林党の政争(二六二一)。 後金の建国。 流賊李自成(二六〇六―一六四五)、北京に侵入(二六四二)。	高啓(一三六―一三七四) 施耐庵(？)『水滸伝』 羅貫中(？)『三国志演義』 瞿佑(一三四―一四三七)『剪燈新話』 方孝孺(一三五―一四〇二) 陳献章(一四八一―一五〇〇) 王陽明(一四七二―一五二八)『伝習録』 李夢陽(一四七五―一五二九) 呉承恩(一五〇〇―一五八二)『西遊記』 帰有光(一五〇六―一五七二) 李攀竜(一五〇四―一五七〇)『古今詩刪』 李時珍(一五八一―一五九三) 『本草綱目』 王世貞(一五二六―一五九〇)『金瓶梅』？ 李贄(卓吾、一五二七―一六〇二) 湯顯祖(一五五〇―一六二七) 『牡丹亭還魂記』 徐光啓(一五六二―一六三三)『農政全書』 袁宏道(一五六八―一六〇〇) 洪応明(？)『菜根譚』	五山文学の隆盛。 虎関師錬(一三四六―一五〇三)『元亨釈書』 義堂周信(一三八八―一四三六)『空華集』 絶海中津(一四〇五―一四五〇)『蕉堅稿』 足利学校再興(一四三九)。 グーテンベルグ、活版印刷術 発明(一四五〇ころ)。 豊臣秀吉、天下統一(一五九〇)。 徳川家康、江戸幕府開く。	
一六六		世祖(順治帝、一六三八―一六六二)、李自成を追放、中国に君臨。 鄭成功(一六四一―一六六二)、台湾に拠って明の回復を計る。 康熙帝(一六五四―一七三三)・乾隆帝(一七二一―一七九九)、学術・出版を奨励。	黄宗義(一六〇一―一六九五)『明儒学案』 顧炎武(一六二一―一六八二) 『日知録』 蒲松齡(一六三〇―一七〇五)『聊齋志異』 王士禛(一六四一―一七〇三)『唐賢三昧集』 彭定求(一六四一―一七二九) 『全唐詩』 康熙帝(一六五四―一七二二)『康熙字典』 沈德潜(一六七二―一七六九)『唐宋八家文読本』『唐詩別裁』 呉敬梓(一七〇一―一七五五)『儒林外史』 張玉穀(一七一七―一七七二) 『古詩賞析』 乾隆帝(一七二二―一七九五)『四庫全書』 曹雪芹(一七二四―一七六三)『紅樓夢』 段玉裁(一七二五―一八一五) 『說文解字注』 王念孫(一七四一―一八三三)『広雅疏証』 阮元(一七六四―一八四九)『経籍纂詁』 林則徐(一七八五―一八五〇) 劉宝楠(一七九一―一八五五)『論語正義』 龔自珍(一七九二―一八四二) 魏源(一七九四―一八五七)『海国図志』 曾國藩(一八一七―一八七二) 黄遵憲(一八四八―一九〇五)『日本国志』	藤原惺窩(一六六―一六九)・中江藤樹(一六四八 林羅山(一六五九・石川丈山(一六七二) 湯島に聖堂建立(一六九〇)。 水戸光圀(一七〇)・伊藤仁斎(一七〇五) 貝原益軒(一七四)・获生徂徠(一七八 芭蕉(一六九四)・奥の細道。	
一六二		考証学盛行。 白蓮教の乱。 阿片戦争。	『説文解字注』 王念孫(一七四一―一八三三)『広雅疏証』 阮元(一七六四―一八四九)『経籍纂詁』 林則徐(一七八五―一八五〇) 劉宝楠(一七九一―一八五五)『論語正義』 龔自珍(一七九二―一八四二) 魏源(一七九四―一八五七)『海国図志』 曾國藩(一八一七―一八七二) 黄遵憲(一八四八―一九〇五)『日本国志』	アメリカ独立宣言(一七七六)。 寛政異学の禁(一七九〇)。 本居宣長(一八〇)・頼山陽(一八三三) 広瀬淡窓(一八二六)・佐藤一斎(一八五九 明治維新(一八六八)。	
一四〇		清	太平天国の乱。	日露戦争(一九〇四―一九〇五)。 夏目漱石(一九〇六)。 第一次世界大戦(一九一四―一九一八)。 森鷗外(一九二二)。 満州事変(一九三二)。 第二次世界大戦(一九三九―一九四五)。 東京オリンピック(一九六四)。 日中国交回復(一九七二)。	江戸時代
一八〇		日清戦争。 義和団の乱。 辛亥革命。	孫文(一八六―一九一五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八〇―一九二六)、大總統に就任(一九一三)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和國成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	康有为(一八五八―一九二七) 章炳麟(一八六―一九三三) 梁啓超(一八七―一九二九) 王国維(一八七―一九二七) 陳独秀(一八七―一九四二) 魯迅(一八八一―一九三六)『呐喊』 胡適(一八九―一九六二) 郭沫若(一八九―一九七八) 林語堂(一八九―一九七六)『北京好日』 郁達夫(一八九六―一九四五) 茅盾(一九六―一九八〇) 老舍(一八九―一九六七) 聞一多(一九九―一九四六)	明治
一九二	中華民國	孫文(一八六―一九一五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八〇―一九二六)、大總統に就任(一九一三)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和國成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	夏目漱石(一九〇六)。 第一次世界大戦(一九一四―一九一八)。 森鷗外(一九二二)。 満州事変(一九三二)。 第二次世界大戦(一九三九―一九四五)。 東京オリンピック(一九六四)。 日中国交回復(一九七二)。	昭和	
一九七	中華人民共和國	孫文(一八六―一九一五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八〇―一九二六)、大總統に就任(一九一三)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和國成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	夏目漱石(一九〇六)。 第一次世界大戦(一九一四―一九一八)。 森鷗外(一九二二)。 満州事変(一九三二)。 第二次世界大戦(一九三九―一九四五)。 東京オリンピック(一九六四)。 日中国交回復(一九七二)。	大正	
一九九	中華人民共和國	孫文(一八六―一九一五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八〇―一九二六)、大總統に就任(一九一三)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和國成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	夏目漱石(一九〇六)。 第一次世界大戦(一九一四―一九一八)。 森鷗外(一九二二)。 満州事変(一九三二)。 第二次世界大戦(一九三九―一九四五)。 東京オリンピック(一九六四)。 日中国交回復(一九七二)。	平成	